

「なる」構文について

李奇楠（北京大学）

要 旨

コミュニケーションの基本単位は発話である。その発話の基本形式は文と言える。文の構造は構文であり、話者の表現の目的に応じて様々な構文スタイルがある。事態に関する話者の認知によって、スル表現とナル表現の使い分けが存在している。本論文は日本語の「なる」構文の使用を、「名詞・形容詞＋なる」構文と、「動詞＋なる構文」に分け、それぞれ具体的用例の使用分析および中国語との対照を通し、同じく「主題＋解説」型を好むと言われる日中両語は、中国語のほうが日本語よりスル表現でコトガラを言語化する傾向が強いことが検証できた。

キーワード: スル表現、ナル表現、「なる」構文、日中対照、配慮表現

1. 問題提起

言語類型論の立場から、日本語、英語について、スル表現かナル表現かに関する議論がある。例えば寺村（1976）、池上（1981）など。その主な内容を中川（1997）では、以下のようまとめている。

寺村（1976）、池上（1981）がつとに指摘するところではあるが、ある事態を描く場合、動作主を明示し、それが何かを「する」と表現することもある。傾向として、前者を好む言語を **do** 言語、後者を好む言語を **become** 言語とすれば、英語は **do** 言語で、日本語は典型的な **become** 言語であるとされる。（中川 1997 : 3）

日本語、英語及び中国語に関しては、同じく中川（1997）で次のように書いている。

英語が〔仕手＋動作〕型を好むのに対して日本語や中国語は〔主題＋解説〕型を好むという言い方もできる。……コト中心言語、〔主題＋解説〕型言語、**become** 言語という言い方にはさほど大きな違いはないであろう。その意味で中国語もコト中心言語である。……どういった場合にコトが好まれどういった場合にモノが好まれるのかを個々の言語の問題として捉えることが必要であろう。その上で日本語と中国語ではどちらがよりコト的表現を好むのかという議論をしなければならないが、……（中川 1997 : 9 - 10）

上の論述からわかるように、英語と日本語・中国語がそれぞれ、〔仕手＋動作〕型を好むスル言語と〔主題＋解説〕型を好むナル言語のような傾向が見られる。ただ、日本語と中国語はどちらがよりナル言語型であるかは、まだ定かではない。それに関する検討の余地がある。本論文は、この課題に取り組もうと考えている。

具体的には、事態に関する把握は「なる」と表現する日本語に対して、中国語の場合、その事態をどのように把握しているかを考察してみる。つまり、「なる」表現の日本語は、中国語では、果たして、同じく「なる」表現と言語化されるかそれとも「する」表現と言語化されるのか、今回は「～～ことになる」のような「なる」構文を中心に、具体的研究を進めたいと思う。

2. 同一事態に関する異なる表現

「なる」構文については、本論文では意志性のない成り行きや変化の状態、結果に関する表現の構造を指す。形としては「なる」が代表的な自動詞構文が中心である。

認知文法によると、形式の違いは意味の違いの反映である。その意味の違いは、異なる事態に関する認識主体の異なる解釈より生まれたものであろう。同一の事態であっても、認識主体のその事態参与者、関連要素のどの部分に注目し言語化するかによって、異なる構文形式となるであろう。たとえば、

「イチロウがバットでテレビカメラを割った」の例を、「バットでテレビカメラが割れた」と簡略に表現すれば、「イチロウ」という動作主 (agent) が背景化され、道具である「バット」が強調された描き出しになる。さらに、「テレビカメラが割れた」とすれば、動作主、道具とも背景化され、状態変化だけが描き出しのスコープに入っている。

(辻編 2002 : 1)

上記のような認知特徴よりの同一事態に関する異なる表現の産出は英語、日本語、中国語のどの言語にも存在する現象であり、普遍的性質が存在すると言える。たとえば、以下のような例である。中国語の表現は筆者による。

(1) a: Floyd broke/hit the glass with a hammer.

(フロイドは金槌でグラスを壊した/叩いた。)

(弗洛伊德用锤子打破/击打玻璃杯。)

b: The hammer broke the glass.

(~~フロイドは金槌~~がグラスを壊した/~~叩いた~~。)

(~~弗洛伊德用锤子打破/击打~~玻璃杯。)

c: The glass(easily) broke.

(~~フロイドは金槌で~~グラスをが (簡単に) 壊した/~~叩いた~~れた。)

(~~弗洛伊德用锤子打破/击打~~玻璃杯 (轻易地) 破了。)

d: Floyd hit the hammer against the glass.

(フロイドは~~金槌で~~グラスをに金槌を壊した/~~叩いた~~打ちつけた。)

(弗洛伊德用把锤子打破/击打到玻璃杯上。)

(河上 1996 : 114 の用例に基づく)

(2) a: John broke the window.

(ジョンが窓を壊した。)

(约翰打坏了窗户。)

b: The window broke.

(窓が壊れた。)

(窗子坏了。)

c: The window is broken.

(窓が壊れている。)

(窗子是坏的)

(河上 1996 : 115 の用例に基づく)

(3) a: John opened the door.

(ジョンはドアを開けた。)

(约翰打开了门。)

b: The door opened (all by itself).

(そのドアは(ひとりで)開いた。)

(门(自动)开了)

c: The door was finally opened (by John).

(そのドアは遂に(ジョンによって)開けられた。)

(门终于被(约翰)打开了。)

(河上 1996 : 128 の用例に基づく)

ただ、どちらも言える場合、どちらをさらに好んでより多く使用しているか、さらに具体的考察を進める必要があるであろう。

本論文はそのような試みの一つとして、日本語における状態変化の「ことになる」構文を中心に、中国語との対照を通して、両言語のそれぞれの事態把握の性質をより鮮明に把握できるように努める。

3. 「～～ことになる」構文について

以前(自分が日本語を勉強していた学生の時代)は「結婚することになりました」のような表現が不思議に思った。中国人母語話者の語感(この語感はいわば素朴な事態認知スタイルであろう)から、「結婚します」や「結婚することにしました」のような「する」表現がよいのではないかと考えたことをまだはっきり覚えている。実際「わたしたち、結婚いたします」のような表現が使われているし、むしろ今こちらのスル表現が多用しているかもしれない。たとえば、次のような同じ日に同じ当事者お二人の結婚報告についての表現、一方はスル構文表現、他方はナル構文表現を使っている。

(4) 女優の榮倉奈々(28)が8日、俳優の賀来賢人(27)と7日に結婚したことを所属事務所を通じてファクスで発表した。

コメント全文は以下の通り。

この度、私、榮倉奈々は、賀来賢人さんと8月7日に入籍いたしました⁽¹⁾ことをご報告させていただきます。

ドラマ「Nのために」での共演が出会いでした。

昨年の夏頃から交際をはじめ、約1年ほど時間を共有していく中で、家族になりたい、という思いに至りました。

これから先、人生に起こる全ての事を彼と共に乗り越えていけると思うと、とても幸せです。

今まで応援し支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。

まだまだ未熟ではありますが、精進していきたいと思っています。

これからも温かく見守っていただけたら嬉しく思います。

平成28年8月8日

榮倉奈々

(<https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2016/08/08/kiji/K201>)

60808013123910.html?feature=related)

- (5) 女優の榮倉奈々(28)が8日、マスコミ各社へ宛てたファックスで俳優の賀来賢人(27)と7日に入籍したことを発表した。

賀来も同日、所属事務所を通じたファックスで榮倉との結婚を発表。「彼女となら明るく楽しく過ごせると思い入籍しました」と心境をつづった。

コメント全文は以下の通り

この度、私、賀来賢人は榮倉奈々さんと結婚する運びとなりました。

ドラマ「Nのために」で出逢い、約1年の交際期間を経て、彼女となら明るく楽しい人生を過ごせると思い入籍いたしました。

まだまだ未熟者ではありますが、お世話になっている関係者の皆様にご指導いただきながら、仕事に精進しようと思っております。

応援してくださる皆様には、これからも温かい目で見守って頂けると幸いです。

平成28年8月8日

賀来賢人

(<http://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2016/08/08/kiji/K20160808013124110.html>)

(4)の「この度、私、榮倉奈々は、賀来賢人さんと8月7日に入籍いたしましたことをご報告させていただきます。」は、スル構文表現であり、(5)の「この度、私、賀来賢人は榮倉奈々さんと結婚する運びとなりました。」は、ナル構文表現である。新人夫婦の二人は、ご自身の結婚に関するそれぞれの視点での表現である。

めでたい結婚と同じように、離婚の場合も二通りの言い方がある。たとえば、次のような例である。

- (6) 大好きなダメ夫と離婚します。

結婚8年目離婚する事になりました。

(<https://mikle.jp/threadres/1943163/>)

- (7) 直筆サインで田中は「私ごとで大変恐縮ですが、私田中直樹は、この度、小日向しえさんと離婚することになりました」と報告。「話し合いを重ね、このような結論に至りました。これからは、夫婦という形ではなくなりますが、子どもたちの父親、母親としてしっかりと責任を果たしていきたいと考えております」とコメントしている。

(<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170502-00000332-oric-ent>)

(6)はある女性の自分自身の離婚のことについて書いた二つの発話である。スル表現とナル表現を自在に使っている。(7)では「私ごとで大変恐縮ですが、私田中直樹は、この度、小日向しえさんと離婚することになりました」とナル構文が用いられている。

- (8) 韓国出身のモデル、ヨンア(28)が26日、今秋に再婚することを発表した。

自身のブログで「私 ヨンアはこの秋結婚することになりました」と報告したもの。お相手は40歳の実業家の男性で「共通の友人の紹介で知り合い、約1年間お付き合いする中で将来をともにしたいと考えるようになりました」と結婚に至る経

緯を説明。

年内にも婚姻届を提出する予定で、「今後は彼を支えながらお仕事も続けていきますので、みなさまこれからもヨンアをどうぞよろしくお願いいたします」としている。

所属事務所も同日、報道各社へのFAXでヨンアの婚約と本人のコメントを発表した。ヨンアは09年に韓国人の実業家と結婚したが、13年6月に離婚していた。[2014年8月26日 10:54]

(<http://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2014/08/26/kiji/K20140826008813720.html>)

(9) 長井は報道各社へのファックス「私事で恐縮ですが、このたびご縁あり、平成29年10月12日、私、長井秀和は、かねてよりお付き合いをしておりました、パトリシア・ヘレン・ディーンさんと入籍いたしました」と報告した。

(<https://headlines.yahoo.co.jp/h1?a=20171022-00000048-sph-ent>)

同じ再婚であっても、以上の(8)、(9)にあるようなナル表現とスル表現をとっている言い方もある。このような用法も立派なフレキシビリティ（flexibility 柔軟性）の現象とも言えるであろう（笑）。

文型としての「ことになる」については、以下のような説明がある。

(10) 将来の行為について、なんらかの決定や合意がなされたり、ある結果になることを表す。「…ことにする」が、だれが決定・決意したのかがはっきりしているのに比べ、この「ことになる」はそれが明瞭ではなく、自然に、なんとなく、ひとりで、そういう結論・結果になる、というような意味あいをつたえる。……(略) 同じ意味の「こととなる」は、よりあらたまった、書きことば的表現。(砂川ら 1998: 121)

(10) の説明を読んで、「ことになる」構文の使用は、将来の行為について、どなたかの決定や決意をはっきり言うのを避け、自然にそういう結論、結果になることを表明する構文だと理解できる。ちなみに、この文型の「ことになる」パターンで言い切った用例の中国語訳(砂川ら 1998 の中国語版による)はいずれも、“決定～～”というV0(動詞+目的語)のような他動詞構文、つまり「する」表現となっている。それもこの日本語の「なる」構文の意味は、中国語では「する」構文の意味で表される傾向が見られた。

本論文はこの「なる」構文では、述語部分の状態変化や結果の自動詞用法である「なる」とその先行の他の意味成分との共起を考察し、同じ事態に対する中国語の表現との対照を通して、全体としては「なる」構文のこの表現は中国語ではどのように言語化されているか、を具体的に調べ、分析し、日中両言語の事態把握の実態・特質を明らかにする。

4. 「N・な形容詞語幹になる」構文について

「なる」(なる、なった、なっているを問わず)で言い切る構文は、その前に来る成分は品詞別にみると、「N・な形容詞語幹になる」、「い形容詞くなる」、「動詞ことになる」の三パターンがある。今回の用例収集&分析によると、名詞・な形容詞の場合は基本的には、日中両方とも「なる」表現で対応していると言える。

(11) 国民は理由はどうであれ増税には反対だ。とくに買物をするたび取られる消費税の増税をきらう。消費税は自民党の竹下内閣が導入を決め、1989年4月から実施されたが、国民の反発が強く、同年7月の参議院議員選挙では自民党は敗北し、消費税に反対した社会党が第一党になった。

(不管出于何种理由的增税，国民总是反对的。人们特别讨厌增加在每次购物时被收取的消费税。消费税是自民党的竹下内阁决定实施并于1989年4月开始征收的，当时遭到了国民的强烈反对。同年7月在参议院议员的选举中自民党败北，反对消费税的社会党成为第一大党。)(日本経済の飛躍的な発展(原文)日本经济的腾飞(訳文))⁽²⁾

(12) ごく最近わたしの女になった。

(也成了我的女人。)(日本戦後名詩百家集(原文)日本战后名诗百家集(訳文))

(13) 私と歌との出会いは、すなわち佐佐木幸綱氏との出会いであった、早稲田の文学部で、そのエネルギーな講義を聴き、魅了される。歌人だということを知る。歌集を読む。とりこになる。そして私は歌をつくりはじめた。

(我与短歌相逢，亦即是我与佐佐木幸纲先生的相逢。在早稻田大学文学部听他精力充沛的讲课，为此心醉。我知道他是个歌人。读了他的歌集，我成了俘虏，于是也开始作起短歌来了。)(サラダ記念日(原文)沙拉纪念日(訳文))

(14) 衆議院で可決し、参議院でこれと異なつた議決をした法律案は、衆議院で出席議員の三分の二以上の多数で再び可決したときは、法律となる。

(众议院已经通过而参议院作出不同决议的法律案，如经众议院出席议员三分之二以上的多数再次通过时，即成为法律。)(日本国憲法(原文)日本国宪法(訳文))

(11)～(14)は、いずれも「Nになった」、「Nになる」の構文使用であり、中国語の場合は、ふつう“成为N”、“成了N”のような構文表現となる。

(15) 曇(みぞれ)がふっと雪に変わり、空はいくらが清浄になった。

(雪雨忽然变成雪。天空也变得有几分的洁净。)

(日本戦後名詩百家集(原文)日本战后名诗百家集(訳文))

(16) 実際、里子の軀は孤峯庵にきて丈夫になった。目方もふえた。

(里子的身体自从来到孤峰寺以后，变得更结实，体重也增加了。)

(雁の寺(原文)雁寺(訳文))

(17) 「そうは云わない。僕は女を得て、益々仕事をする力を得る。彼は女を失って益々真剣になる。両方が、日本及び人類にとって有意味であることを、自分は切にのぞんでいる」

(“不对。我得到了她，将更加获得工作的力量；朋友失去了她，将变得更加认真。我想这两者对世界以及人类都是有益的。”)(友情(原文)友情(訳文))

(15)～(17)は、いずれも「な形容詞語幹になる」の構文使用であり、中国語の場合は、ふつう“变得～～(形容詞あるいは副詞+形容詞)”のような構文表現となる。

ただ、自然現象や季節など時間を表す名詞と「なる」構文の共起はふつう、中国語では擬人的メタファー表現が用いられ、あたかも人間の意志的行為となっているような言語化である。

(18) 梅雨になった。

(梅雨期到了。)(日本戦後名詩百家集(原文)日本战后名詩百家集(訳文))

(19) それでもなんとか、冬が過ぎ、春になった。

(总算熬过冬天，春天来临了。)(砂の女(原文)砂女(訳文))

(20) 九月は十月になった。

(从九月进入十月)(布団(原文)棉被(訳文))

(21) 七月五日になった。

(到了七月五日)(越前竹人形(原文)越前竹偶(訳文))

(18)～(21)は、自然現象の「梅雨」や季節の「春」や時間を表わす「十月」、「七月五日」などの名詞と「になった」との共起であり、中国語では、“到了(到着した)”、“来临了(来た)”、“进入(入った)”のような意志性動詞が使われている。日本語には「春が来た」のような似た表現も使われるが、「春になった」のような表現は中国語では、ふつう「春が来た」のようなワンパターンとなっている。

また日本語には慣用句的表現の「なる」構文は、全体は一つの固定的意味となっていて、中国語では、動詞の受け身構文(ナル表現にちかいが)や意志性のない生理的・心理的(動詞)表現の言語化となっている。たとえば、次のような例である。

(22) ぼくは首になった。

(我被撤职了。)(日本戦後名詩百家集(原文)日本战后名詩百家集(訳文))

(23) 二度目に行った時も亦逢えなかった。今度は心配になった。いよいよ杉子は病気なのだ、それも、もしかすると命にかかわる大病かも知れないと思った。それでじっとしていられないので翌日また逢いに行った。

(第二次去又没碰上。这回野岛担心了，越发觉得杉子是病了，而且没准还是性命相关的大病。他因为放不下心来，隔天又去碰杉子。)(友情(原文)友情(訳文))

(22)の「首になった」は中国語ではふつう、動詞受身形の“被撤职”、“被解雇”となり、(23)の「心配になった」はふつう意志性のない心理的動詞表現“担心”となっている。完全にナル表現の日本語より、動詞の受身形や心理動詞の言語化となる中国語のほうは、よりスル表現に傾いていると言えるであろう。

5. 「い形容詞くなる」・「い形容詞ことになる」構文について

「い形容詞くなる」も、名詞・な形容詞の場合と同じように、日中両方とも「なる」表現で対応していると言える。

(24) 顔が赤くなる。緊張してぎこちなくなりうまく話せない

(或脸色变红；或紧张得口拙舌笨地连话都说不利索)

(心の危機管理術(原文)顺应自然的生存哲学(訳文))

(25) 「それはきつとなれるよ。君がいてくれるのがどんなにうれしいだろう。日本もこれから面白くなる。本当に仕事らしい仕事をしなければ不名誉だ」

(“一定！有你在，我多高兴呀！日本也变得有意思了。我们真得干点象样的工作才有脸见人。”)(友情(原文)友情(訳文))

(24)の「赤くなる」、(25)の「面白くなる」のような例は、中国語ではふつう、同じく

変化動詞“変”、“变得”と形容詞の組み合わせで言い表すことになる。

さらに、「い形容詞ことになる」構文の使用も見られる。

(26) 君に会えないのは辛いけれど、もし君がいなかったら僕の東京での生活はもっとひどいことになっていたと思う。

(见不到你固然是痛苦的，但倘若没有你，我在东京的生活将更不堪忍受。)

(ノルウェイの森 (原文) 挪威的森林 (訳文))

(26) の「もっとひどいことになっていた」は、中国語では、“将更不堪忍受”となっている。日本語の「い形容詞ことになる」構文はふつう、中国語では“将来の時間副詞+程度副詞+形容詞”と表わすことになる。

6. 「動詞ことになる」構文

「動詞ことになる」パターンは事情がだいぶ複雑となっている。さらに動詞の下位分類すなわち他動詞と自動詞の別を見ていくと、それぞれの中国語における言語化の法則が見られることができた。以下、それについて用例をあげながら論じる。

6.1. 「他動詞構文+ことになる」について

結論を先に述べると、同じような事態を捉えるとき、日本語の「他動詞構文+ことになる」は、中国語の場合、基本的には、他動詞構文だけの表現になる。

(27) 皆、大宮のうまいのに驚いた。しかしその容赦のないのになお驚いた。皆のピンポンは女王のお相手をしているのなら、大宮のは獅子が兎を殺すにも全力をつかうと云う風だった。勝負は二度やることになった。

(大家都为大宫精湛的球艺吃惊，而那种毫不留情的打法更是令人吃惊和，别人打球都是象同女王作对手，大宫却是如老鹰捉小鸡一样全力以赴。比赛决定打两盘。)

(友情 (原文) 友情 (訳文))

(28) 父親は名古屋で大きな病院を経営し、兄はやはり東大の医学部を出て、そのあとを継ぐことになっていた。

(父亲在名古屋经营一间大医院，哥哥同为东大毕业，继承父业)

(ノルウェイの森 (原文) 挪威的森林 (訳文))

(29) 石油危機のことを日本ではオイルショックという。最初日本人はうろたえて、世界中でもっともあわてた。しかし経営者も労働者も消費者も、そして政府も最後は協力してこの危機を乗り越えた。このことは日本人の自信を一段と強めることになった。

(在日本，石油危机被称为“油的冲击”。最初日本人慌了手脚，而且是世界上慌得最厉害的。可是最后，经营者、工人、消费者及政府齐心协力战胜了危机。这件事更增强了日本人的自信心。)

(日本經濟の飛躍的な發展 (原文) 日本经济的腾飞 (訳文))

(30) 新幹級の建設については、既設の東海道新幹線、継続工事中の山陽新幹線のほか、東北新幹線（東京～盛岡）上越新幹線（東京～新潟）成田新幹線（東京～成田）の三線は建設がすでに決定、実施にはいつている。さらに北陸新幹線（東京

～富山～大阪)九州新幹線(博多～鹿児島)東北、北海道新幹線(盛岡～青森～札幌)の三線も基本計画に組入れることになった。

(关于铁路新干线的建设,除已建的东海道铁路新干线,和继续施工的山阳铁路新干线外,已动工兴建的有:东北铁路新干线(东京—盛岡)、上越铁路新干线(东京—新潟)、成田铁路新干线(东京—成田)三线。此外,列入基本建设计划的有:北陆铁路新干线(东京—富山—大阪)、九州铁路新干线(博多—鹿児島)、东北—北海道铁路新干线(盛岡—青森—札幌)三线。)

(日本列島改造論(原文)日本列島改造論(訳文))

(27)～(30)は、日本語のほうはいずれも「他動詞構文+ことになる」(筆者による下線の部分)構文が使われているが、中国語のほうは、その「ことになる」部分がなかなか反映できなく、どちらも“他動詞構文”だけの表現にとどまっている。

6.2. 「自動詞構文+ことになる」について

「自動詞構文+ことになる」構文の使用も今回かなりの用例が収集できた。考察によると、同じような事態を捉えるとき、日本語のこの二重的構文は、中国語の場合、基本的には、一重の自動詞構文の表現となっている。

(31) 「自分の胃腸は弱い」と思い込んだ私は三度の食事を二度に減らし、胃腸を守ることに努めた。それ以来、一日一食主義が習慣になり、四十年も続くことになった。

(我深知自己的肠胃不好,所以尽力将一日三餐减为两餐,以保护好自己的肠胃。从此我便养成了一日两餐的习惯,并坚持了40年之久。)

(心の危機管理術(原文)顺应自然的生存哲学(訳文))

(32) 終世、独歩は現実と理想(「牛肉と馬鈴薯」)の間をゆれ動くことになった。
(他的一生,始终徘徊于现实与理想(见《牛肉和马铃薯》)之间。)

(近代作家入門(原文)日本近代作家介绍(訳文))

(33) こうして、明治の日本の基本的な政策が現われることになった。すなわち、国を開いて世界の各国と交渉をもつことを承認すると同時に、富国強兵政策によって国家の独立を保つというものである。

(这样,日本明治维新的基本政策便得到了实现。具体地说,就是开放门户,承认与世界各国保持外交关系,同时,实行富国强兵政策,以确保国家的独立。)

(激動の百年史(原文)激蕩的百年史(訳文))

(31)～(33)は、日本語の「自動詞構文+ことになる」と中国語の一重の自動詞構文との対応例である。この日本語構文パターンにある「ことになる」は中国語では、特に言語化されていない、あるいは言語化できないような実態である。さらに、「自動詞構文+ことになる」に近い関係にある「受け身構文+ことになる」に関しても同じようなことが言える。ただ、前後の文脈によると、他動詞構文で表現される例もある。以下の(34)、(35)はその典型例であろう。

(34) たまたま私が出席したある国際的な学者の集まりで、新しい研究機関ができることになり、そのセンターがアメリカの首都ワシントンにおかれることになった。

(我曾出席过一次各国学者的聚会，在会上成立了一个新的研究机构，并决定将机构中心设在美国首都华盛顿。)

(適応の条件 (原文) 适应的条件 (訳文))

(35) ところが、第一次大戦後、新しい視点からの工場立地が促進されることになった。

(但是第一次世界大战以后，促使人们以新的角度选择厂址。)

(日本列島改造論 (原文) 日本列島改造論 (訳文))

(34)、(35) では、日本語の「受け身構文+ことになる」構文が用いられたが、そのような意味を中国語で表す場合、ふつう受け身ではなく、能動文で表現することになる。事態に関する日本人の認知把握と中国人の認知把握の差が言語形式にはっきり表れていると言えるであろう。

7. おわりに

今回の考察を通して、中川 (1997: 10) にも言及されたように、「日本語のほうがより徹底した『なる』言語である」と言えるであろう。それに対して、中国語のほうはより「する」言語だと言えるであろう。

名詞や形容詞の「なる」構文は、日中対照の分析によると、共通性が大きい。動詞の「なる」構文は日中相違点が多い。とくに、最終形式には「ことになる」構文が使われているが、その中身はスル構文であり、そのスル構文の内容すなわち他動性の内容を全体として一つの状態・変化 (の結果) として捉える話者の主観を表している「客観性」⁽³⁾のある表現、いわゆるナル表現を使うのが日本語話者の認知特徴であろう。

それに対し、中国語話者は日本語のそのような二重捉えの姿勢とは違い、一重捉えの特徴がより強いと今回の考察を通し、明らかにした。「なる」構文は、今回の考察対象では、「他動詞構文+ことになる」と「自動詞構文+ことになる」の二種類がある。この二種類の二重構文スタイルに対し、中国語のほうは、対応することもあるが、より中国語らしい表現は一重構文のスタイルをとる言い方が優勢を占めていると言える。さらに、「他動詞構文+ことになる」に関しては、日本人発話者の事態認知に関する自然な成り行きと捉える傾向性と中国人発話者の事態認知に関する他動性の物事をそれほど、自動性の物事に切り替える姿勢を取らない認知スタイルとは密接な関係があるのではないかと思う。

配慮表現との関連性については、スル表現とナル表現とは、どちらが配慮表現であるかは、いいがたい面がある。つまり文脈依存性に左右される面がある。ただ、動作主体に被害を及ぼすようなマイナス的場面では、他動性、動作主体に関する言及を避けるため、しばしば、自動性構文すなわちナル構文を使用するのが配慮的である。そのような配慮表現の使用が日本語のコミュニケーションの一大特徴だと言える。今回の「なる」表現に関する日中対照の考察から見れば、「なる」構文表現の使用傾向性が強い日本語と比べて、ある意味で、中国語より、日本語のほうは配慮性の高い言語が使用しやすい言語環境にあると言えるであろう。

註

- (1) 下線は筆者による。以下同様。
- (2) このような例の出典は『日中対訳コーパス』（北京日本学センター2003）である。以下同様。
- (3) ラネカーの認知文法論による。詳しくは小野・李（2016）を参照されたい。

参考文献

- 池上嘉彦（1978）『意味の世界』日本放送出版協会
- 池上嘉彦（1981）『「する」と「なる」の言語学』大修館
- 小野正樹・李奇楠編（2016）『言語の主観性』くろしお出版
- 河上誓作編著（1996）『認知言語学の基礎』研究社
- グループ・ジャマシイ編著 砂川有里子（代表）（1998）『日本語文型辞典』（くろしお出版）
- 中川正之（1997）「類型論からみた中国語・日本語・英語」『日本語と中国語の対照研究論文集』（大河内康憲編）くろしお出版 3-21
- 辻幸夫編（2002）『認知言語学キーワード事典』研究社
- 寺村秀夫（1976）「「ナル」表現と「スル」表現 - 日英「態」表現の比較」『日本語と日本語教育 - 文字・表現編』国立国語研究所
- 寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味』Ⅱ
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹（2010）『コミュニケーションと配慮表現』明治書院
- Langacker, R. W. (2008) *Cognitive Grammar: A Basic Introduction*, Oxford: Oxford University Press.
(邦訳:山梨正明監訳(2011)『認知文法論序説』研究社)

(李奇楠、北京大学、liqinan@pku.edu.cn)